

# AgeingはAAアミロイド発症の独立した重要なRisk factorである

研究分担者: 道後温泉病院リウマチセンター内科 奥田恭章

表.1

RA発症年齢(n = 388)	アミロイド診断までの平均罹病期間(年)
20 – 29 歳(47)	30.6 ± 11.4
30 – 39 歳(65)	23.0 ± 9.4
40 – 49 歳(91)	19.0 ± 7.4
50 – 59 歳(115)	13.5 ± 6.1
60 – 69 歳(47)	10.2 ± 4.2
70歳以上 (23)	6.3 ± 3.6

表.2

SAA1.3/1.3症例(n = 31)のRA発症年齢とアミロイドーシス診断までの期間		
年齢	n	診断までの罹病期間
20 – 29 歳	5	24.0 ± 13
30 – 39 歳	6	24.7 ± 12.1
40 – 49 歳	4	15.2 ± 7.3
50 – 59 歳	7	13.7 ± 6.3
60 – 69 歳	6	10.5 ± 3.7
70歳以上	3	5.7 ± 2.5

## 解 説

- 20歳以降に発症した関節リウマチ (RA) において加齢とともにRA発症からAAアミロイドーシス診断までの罹病期間が短縮した。
- 同一のSAA1 genotypeでも同様の傾向を示した。
- Ageingは、AAアミロイドーシス発症の独立した重要なrisk factorである。